

事前評価日	平成24年6月1日	No.	1015 06
-------	-----------	-----	---------

基 本 事 項	事務事業名	職員意識改革推進事業			所管部署名	政策室 行政改革担当			
	事業期間	平成15年度 ~ 未設定	事業年齢	9歳	事前評価責任者	中村 詠子	連絡先	048 - 982 - 9445	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等					
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	直営			
	基 本 の 計 画 画 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		直接事業費				
		まちづくり目標	まちづくりの推進のために			歳 出 予 算 科 目	事業名		
		施策	計画的、総合的な行政の推進				会計区分		
		施策小項目	計画的な行財政改革の推進				款		
	第1期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		項					
	個別計画の位置付け	計画名	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 新行財政改革推進プラン		前年度の事務事業有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 101506			
目 的	対象(誰を、何を)	全職員			手 段 (どのような事業を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 職員向け庁内誌を通して、行政改革・行政評価・ISO9001などの情報を発信し、意識改革に関する啓発を行う。 職員意識調査を実施し、仕事に対する意識や行財政改革に対する意識を把握する。 職場カイゼン発表会を開催し、各部署の改善事例を水平展開する。 			
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	広い視野と豊かな創造力、先見性、コスト意識やサービス精神といった経営感覚を持てる。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		職員研修事業						
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		10150601 行革通信		10150602 職員意識調査				
事業関連ホームページ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								

区分	区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度			平成25年度	平成26年度		
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)		
投 入 コ ス ト	① 直接事業費					0	2	2		
	② 人件費		1,832	740	745	1,405	665	1,157	1,157	
		正職員直接投入人員		0.21人	0.08人	0.08人	0.16人	0.08人	0.13人	0.13人
		正職員間接投入人員		0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0人	0.01人	0.01人
	③ 間接経費(加算)									
④ コスト対象外(除外)										
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		1,832	740	745	1,405	665	1,159	1,159		
資 源	⑥ 国庫支出金									
	国補助率									
	⑦ 県支出金									
	県補助率									
	⑧ 市債									
⑨ その他										
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)										
受益者負担率(⑩÷⑤)										
C	吉川市年間負担経費(A-B)		1,832	740	745	1,405	665	1,159	1,159	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独						

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)		目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	全職員	人	395	395	391	390	380
		年度末の正規職員数		395	395	394		
活 動 指 標	①	職員向け庁内誌の発行回数	回	10	12	12	12	12
		行政改革に関する職員向け庁内誌の年間発行数		9	10	10		
	②	職員意識調査実施回数	回	1	1	1	1	1
		職員に対し意識調査を実施した回数		1	1	1		
	③	職場カイゼン発表会開催回数	回	1	1	1	1	1
		職場カイゼン発表会を開催した回数		1	1	1		
成 果 指 標	①	業務改善意識度	%	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		職員意識調査で業務改善を意識しているとした割合		77.0	80.1	82.8		
②								

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	成果・効率性向上度のポジション
		目標達成度	① 職員向け庁内誌の発行回数	増加することが良いとされる指標	90.00%	83.33%	
成果結果	① 業務改善意識度	増加することが良いとされる指標	90.59%	94.24%	97.41%		
績	結果	単位当たりコスト	トータルコスト × 1,000円	単位	平成23年度	平成24年度	
		① 職員向け庁内誌の発行回数		円/回	74,007	140,471	
		単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト - 前年度単位コスト) ÷ 前年度単位コスト)			89.81%	コストが増加している	
評	主な	<p>1. 職員向け庁内誌の発行 (1) 年間10回(4月、5月、6月、7月、8月、9月、11月、12月、1月、2月) (2) 内容 業務改善に関すること、ISO9001に関すること、民間企業の先進事例に関すること、他自治体に関すること、職員の意識改革に関すること等</p> <p>2. 職員意識調査の実施 (1) 調査目的 職員の仕事に対する意識や行政評価・ISO9001など行政改革に対する意識を調査し、その結果を今後の行政経営全般に役立てるため。 (2) 回答率 72.4%(377人中、273人回答) (3) 調査期間 平成25年2月26日～3月8日 (4) 内容 「属性に関すること」:2項目、「行政評価(事務事業評価・施策評価)に関すること」:5項目、「自己改革・職場改革に関すること」:4項目 「ISO9001に関すること」:6項目、「その他」:2項目、「公共施設マネジメントに関すること」:7項目の26項目</p> <p>3. 職場カイゼン発表会の開催 (1) 参加者数 56名 (2) 発表部署 6部署(市民参加推進課、いきいき推進課、生涯学習課、政策室、建築課、財政課)</p>					
		取組					

官民役割分担評価	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性

事業評価	区分	評価	評価判断理由(特記事項)
	妥当性	役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討
対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	
有効性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	職員意識調査で業務改善を意識しているとした割合は、昨年度と比較して増加している。継続して意識改革を推進していくことで、さらなる成果向上が見込まれる。職員の意識改革については、第5次総合振興計画に掲げられた項目であり、市民サービス向上へ直結するものであるため、上位施策への貢献度は非常に高い。
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
効率性	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	現在、直接事業費はなく、経費は担当職員の人件費のみである。職員の意識改革の重要性は今後ますます高まっており、業務量も増えることが予想されるため、コスト改善の余地は少ない。受益者負担の適正化余地については、直接的な受益者を伴わない内部管理のための事業であるため、適正化の余地はない。
	受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	

改革改善	これまでの改善(検討)状況と内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施 職員意識調査にインターネットを利用し、集計に掛かる時間や転記ミスの削減を図った。職場カイゼン発表会では、毎年、参加職員のローリングを図り、多くの職員の改善への意識を高めるようにしている。
	課題と今後の改善策	引き続きあらゆる分野に関連した情報を発信していき、職員の意識啓発を図っていく。

事業(一次評価)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ 拡大 ↓ 手段を改善(実施主体・手段の改善) ↓ 縮小 ↓ 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一次評価日	平成25年5月10日	一次評価責任者	中村 詠子
-------	------------	---------	-------

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ 拡大 ↓ 手段を改善(実施主体・手段の改善) ↓ 縮小 ↓ 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	説明	

二次評価日	平成25年6月26日
-------	------------